



経済の隷属化

令和8年8月17日

黒田インターナショナル コンサルティング LLC

黒田 毅

資本が経済を支配するという真実は、世界の金融がそのグローバル経済と統一と支配を有することへの理解を求められる。

実体経済はライフラインの維持を与えるものである。しかしその背後には金融経済における資本における支配が存在するものである。

これらは経済を動かすということはその資本力が求められ、自由貿易体制とともに経済の独立性を求めることは必ず正し経済の安全保障を与えるものである。

これらは世界経済の統一の背後にはそれら金融資本の思惑が必ず存在するのである。

これらがグローバル経済の現実と真実であり、経済の運営を金融が支える仕組みが存在するのである。

また資本はそのさらなる富を求め、世界の国境を離れ自己を行なうこれら資本の移動は、実弟経済の発展の基盤なのである。

これらが世界の経済の統一であり、金融という世界の統一性は、巨大資本という背後を有するのである。

これら資本主義における世界経済の現実には資本にいて決定されるものであり、実体経済の進歩はそれら金融経済と結びつくことで彼らの資本基準に追える新たな経済の構築を行うものである。

これら金融経済と実弟経済の統一は、世界の経済の統一すなわちグローバリズムとともに新たな経済の現実の構築を行うものである。

これらとは別に政治がその自己プレゼンスを有するものであるが、その両者が緊密の結びつきを有することにおいてその権力の形成が自由主義という現実とともに、現実における絶対的なプレゼンスの形成を与えるのである。